

<9> 家庭との連携

(1) 取り組みの内容とねらい

内 容	ね ら い
ヘルス情報の発行	従来からあった学校としての保健だよりのに加え、高等部に独自の生徒の様子・学校の考えを取り組んだり。また、保護者の意識を高めた。よりおな知識も取
学部研修会	本校の取り組み・生徒の実態を基に保護者との話し合いを持ち、その中で更に家庭者での取り組みへの意識を高めたり、保護者の意見を基に学校側の取り組みを見直したいと考えた。
生活ノートの利用	毎日家庭との連絡に利用している生活ノートを見直し、毎日のからだに関する情報交換をしたいと考えた。

(2) 実 践

・ヘルス情報の発行

まとめ

発行の意図としては、保護者に歓迎された。しかし、学校からの一方通行になってしまった。もっと内容・発行の時期を考えていかなければいけないと反省させられた。保護者からの意見がもっと出てきやすいように工夫を重ねていきたい。

・学部研修会

第 一 回 研 修 会
昭和63年7月12日火曜日
主 な 内 容
本校の取り組み、高等部の取り組みの方向について紹介した。そして、1学期に行なった各種の測定・検査の記録をもとに本校生徒の実態の理解をしておうとした。特に、本校の生徒の体格は、脂肪が多いとの学校の把握を示して、夏休みにおける生活への配慮を促した。特に体重は、人の体調のパロメーターであることを強調し、生徒の体重に対して、もっと気を付けるように働きかけた。

・生活ノートの利用

a) ねらい

- ・より健康なからだづくりをすることや、運動を日常生活の中に取り入れることの必要性が分かり、それを家庭でも実践しようという意識を高める。
- ・特に肥満傾向の子どもを持つ保護者に対して、間食の実態に気付き、それを少なくしていくことが必要なことの理解を高める。
- ・子どもの体重の増減を知らせることで、好ましい食生活やリズムカルな生活（動きのある生活）をすることが必要なことの理解を高める。

b) 方法

生活ノートに以下の欄を設けて情報の交換をし、学校・保護者が連携して「からだづくり」を目指す。

〈今日のヘルスメモ〉

今朝の体重	間 食		運 動	
	内 容	時刻	学 校	家 庭
kg				
昨日との比較				
g				

3. 実践の様子

このヘルスメモを取り入れて、まだあまりたっていないが、多くの家庭で、間食の話や運動が上る。担任と保護者の間に、このヘルスメモを、学部長や生徒の先生も活用しているが、少しづつ改善していくようにしたい。